

研究活動報告

第27回 REVES 会議

6月2～4日に、シンガポール国立大学の医学大学院 (Duke-NUS Graduate Medical School Singapore) (シンガポール) において、健康寿命に関する国際研究報告会が開催された。この会議はほぼ毎年1回開催されており、WHOのGDB (Global Burden of Diseases) とは別のアプローチから健康寿命を研究している世界の研究者が一同に会する。今回は期間中に計42本の報告と1本の記念講演が行われた。報告は口頭のみでポスター発表はない。また同時並行のセッションがないために聞きたい報告は必ず聞けることも、この会議の特徴と言えるだろう。

当研究所からは、林玲子・国際関係部長と筆者が参加した。林部長は“Evolution of Japanese healthy life expectancy since 1970's”と題した報告を、筆者は“A demographic analysis on the average period of receiving medical care - from the viewpoint of disease structure -”と題した報告を行った。

健康寿命、さらには健康と死亡に関する専門的な研究発表会は国内ではほとんど無いことに加え、いずれの報告も質が高く、参加は大変に有意義であった。(別府志海 記)

日本人口学会第67回大会

日本人口学会第67回大会は、2015年6月5日(金)～6月7日(日)に名古屋市の椋山女学園大学で開催された。ただし6月5日(金)は大会前日の特別セッションとして「第5回地方行政のためのGISチュートリアルセミナー」が開催されたもので、正式な大会日程は6月6日(土)～7日(日)の二日間である。前日のチュートリアルセミナーには、次のように当研究所から二名が講師として登壇した。

●特別セッション：第5回地方行政のためのGISチュートリアルセミナー

組織者・座長：井上 孝 (青山学院大学)

- 1) 小地域統計分析 …………… 貴志匡博 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 2) GISを用いた施設の適正配置の考え方と適用例 …………… 鎌田健司 (国立社会保障・人口問題研究所)
- 3) 人口減少期のみどり行政—GISによる空閑地分析— …………… 細江まゆみ (柏 市)
- 4) 極小領域における将来人口推計の可能性 …………… 長谷川普一 (新潟市都市政策部GISセンター)

正式日程である二日間に行われた学会報告は、次の通りである。第1日の会員総会では「団体会員」「賛助会員」「顧問」「総務委員会」の新設、事務局機能の外部委託等を内容とする会則改正案(事務局規定案を含む)が提議され可決された。

第1日 6月6日(土)

●企画セッション① ヨーロッパとアジアにおける結婚と再婚：長期的視点からの国際比較